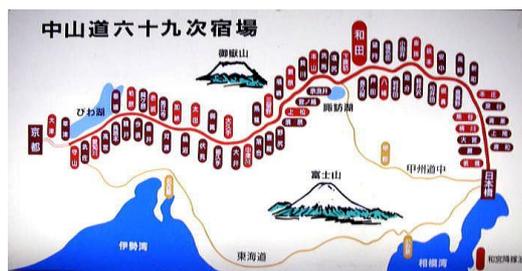


# 寅さん歩 その 19

## バーチャルウォークで 中山道（東下り）を歩くー2



### 平野 武宏

バーチャルウォーク東海道五十三次で京都・三条大橋に到着した寅次郎、帰路はバーチャルウォーク中山道六十九次（東下り）で江戸・日本橋へ戻ります。

今回は各宿場を紹介しながら、京都から初めて歩く中山道（東下り）を楽しみます。各宿場の紹介は山と溪谷社の「歩いて旅する中山道」を参考にしました。写真は無料画像を使用しています。

前は京都・三条大橋から守山宿まで歩きました。今回は武佐宿から番場宿まで歩きます。

**[武佐宿]** 滋賀県近江八幡市武佐町 最寄駅 近江鉄道 武佐駅

2024年2月11日武佐（むさ）宿（京都・三条大橋から46km）に到着しました。武佐宿は健脚の旅人の1日目の宿として利用されました。武佐宿は一本道のこじんまりした町並み（写真下左）、立派な冠木門のある脇本陣跡（写真下右）があります。



**[愛知川宿]** 滋賀県愛知郡愛荘町 最寄駅 近江鉄道 愛知川駅

2024年2月14日愛知川（えちがわ）宿（京都・三条大橋から56km）に到着です。写真下左は愛知川宿の入口の冠木門です。滋賀県は「近江商人」の故郷としてよく知られますが、愛知川宿も「愛知川商人」と呼ばれる人々により商業の町として栄えてきました。宿場町としての遺構はそれほど残っておらず、街道筋は現在、商店街になっています。写真下右は江戸時代からの歴史を誇る老舗の料理屋で当初は旅籠だったとのこと。



**[高宮宿]** 滋賀県彦根市高宮町 最寄駅 近江鉄道 高宮駅

2024年2月14日高宮宿（京都・三条大橋から64km）に到着しました。



高宮宿はもともと多賀大社の門前町・麻織物高宮布の機織りとして栄え、彦根への玄関口です。多賀大社は古くから「お多賀さん」として親しまれた古社です。「お伊勢参らば お多賀に参れ お伊勢 お多賀の子でござる」と謡われました。写真上左は町の中心にある 1635 年（寛永 12 年）建造の高さ 11m を越える多賀大社の一の鳥居ですが、多賀大社はここから約 3km 先にあるとのこと。写真上右は名物 丁稚羊羹です。海のない近江では寒天の代わりに小麦粉がつなぎに使われました。名の由来は丁稚に食べさせたとか、丁稚が買って帰ったとか諸説あります、

**[鳥居本宿]** 滋賀県彦根市鳥居本町 最寄駅 近江鉄道 鳥居本町駅

2024 年 2 月 15 日鳥居本宿（京都・三条大橋から 70km）に到着しました。



鳥居本宿は今でも古い格子の町屋が残り、宿場情緒あふれる町並み（写真上左）です。ここの名物は胃腸薬・赤玉神教丸で当時は多くの店でこの丸薬が売られていました。写真上右は江戸時代の大店舗の姿を留める赤玉神教丸本舗 有川家で、今は廃業してありません。もう一つの名物は道中かっぱで、旅人に人気があったとのこと。です。

**[番場宿]** 滋賀県米原市番場 最寄駅 JR 東海道本線 米原駅

2024 年 2 月 16 日番場宿（京都・三条大橋から 74km）に到着しました。細長い宿場で一本道に往時の街道の面影が残っています（写真下左右）。番場は長谷川伸の戯曲「臉の母」の主人公 番場忠太郎の故郷に設定されました。



今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝